

平成 28 年度事業計画書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

はじめに

理事長 磯部伸之

平成 28 年度で、社会福祉法人アトリエの計画は 4 期目になりますが、平成 27 年度の生活介護事業所「障害者福祉オルタレゴ」開所が社会福祉を担う法人としてのスタートといえるでしょう。ここでは、計画の背景についてを中心に述べさせていただきます。

現在の福祉制度では、介護保険や障害福祉のサービスなどの第二種社会福祉事業に営利法人も参入ができます。アトリエが運営する生活介護事業も同様です。同一の事業に対して法人格の差で税制の優遇などを問題視する声もあります。しかし、社会福祉法人は、設立に際し、社会福祉事業の継続的な経営に必要な基本財産を借入なしで用意し、その後も厳しい行政の監査があります。アトリエは、25 年以上知的障害者の魅力を伝え続けた結果で設立の資産を準備しました。その原動力に、知的障害の感覚が社会にとって必要なのではないか？との発想があるのです。それを社会に伝え有意義に活用することで、《障害者への庇護の目線》が《対等な目線》に変わる事がアトリエの考える障害者福祉の基本理念です。そして「障害者福祉オルタレゴ」は、その理念を元に生活介護事業所として活動しています。

制度上、生活介護事業所は、日常生活上の支援及び創作活動の機会の提供を求められています。そして、既にある他事業所によって、様々な下請け作業、自主製品の製造、運動や余暇的な外出プログラム、絵画や音楽など芸術的な創作や発表などの魅力的な取り組みが行われています。

一方、「障害者福祉オルタレゴ」では、作業や創作活動などを構築はしていません。先に示した理念を実現するには、単に障害のある方に介護や活動を提供する事だけでは不十分と考えるからです。また、利用希望の方を一般的な作業能力などで適性判断することもしません。「障害者福祉オルタレゴ」では、その方ならではの視点を見つけることを大切にしているからです。

まだ、この理念を社会に伝える仕組みを模索している段階です。しかし、既に行っている活動では、いつも「その人がそのままいられる」場所と関係があります。すると、不思議なほどに利用者の自発性が生まれています。私が過去に関わった世界中のどこの福祉事業所でも感じたことがない仕組みの要素を含んでいると断言できます。では、平成 28 年度、障害福祉サービスの生活介護事業所「障害者福祉オルタレゴ」の計画をご覧ください。

平成 28 年度事業計画

生活介護 / 就労継続支援 B 型

平成 27 年 4 月 1 日より障害者福祉サービス事業を開始。昨年度は、開所からの一年を通して、利用者の個々の特性を探ってきました。また、日々の関係性を築きあげることで、それぞれの役割や日常が充実してきています。

今年度は、この関係性や個々の特性を生かすために、生態系の中に不要な生物などないという理念の庭作りや古い物を繕う活動にも取り組んでいきます。

関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かな生活介護サービスの提供をします。

【施設理念】

近年、知的障害者の素晴らしいアート作品を世に送り出す施設も増えてきました。

しかし、作品というものを作らなくても、素晴らしい感受性をもつ障害者がいます。

彼らのものの捉え方には、健常者が忘れてしまったものがたくさんあります。

私たちは「障害者に対する、健常者の目線を変えること」を目的として活動しています。

そうすることで、知的障害者は健常者に庇護の目で見られる存在から、

健常者の師ともなり得ると信じています。

【経営方針】

「一般的な作業所で作業をあまり積極的に行えない方に特化した」環境・体制を整える。

【事業・運営計画】

1. 生活介護

①庭づくりや古い物を繕う活動を始動する。

②利用者増に向けて、特別支援学校など地域へむけての呼びかけを行う。

2. 就労継続支援 B 型

①募集に対して利用者が集まっていない為、生活介護の利用者を増やすことを主に行う。

【数値指標】

平成 27 年度実績と 平成 28 年度予定	平成 27 年度 (4~2 月)		平成 28 年度	
	生活介護	B 型	生活介護	B 型
利用者定員	6	14	6	14
利用者延数	708	0	1188	0
平均一ヶ月稼働日数	22.6	22.6	22	22
一日平均利用者数	3.1	0	4.5	0
稼働率 (%)	51.9	0	75	0
稼働延日数	226	226	264	264
平均区分	5	-	4.5	-
単価 (一人一日) 11 月まで	¥10,435	0	¥9,800	0
職員数 (常勤)	2.9	0.1	2.9	0.1
職員数 (非常勤)	0.5	0	0.5	0

【職員】

職 種	員 数	
	常 勤	非 常 勤
施設長・サービス管理責任者	1	
主任 生活支援員	1	
生活支援員・職業支援員	1	2
看護師		1
	嘱託 1	

【職員会議・研修】

会議・研修名	内 容	頻度・時期	参加者
新規利用会議 (アセスメント)	新規の利用者の受入れ時に必要な事を話し合います。	随時	施設長 生活支援員
活動確認会議 (デイミーティング)	利用者の希望をくみあげ活動につなげます。	毎日	全員
対応会議 (ケアカンファレス)	利用者の訴えや生活全般の様子で感じた事を話し合います。	随時 ほぼ毎日	施設長 生活支援員
夜間施設内会議 (ヨルタレゴ)	日中にオルタレゴを体験できない方向けに理念を伝える事と意見を交換し具体的な活動のアイデアを探る場です。	月1回	福祉有識者 障害当事者 学生等
事故予防会議	活動における危険や施設の安全管理などに対して協議します。	随時 3月頃	有識者 施設長・役員
防災研修	防災時の対応を学び訓練を行います。	年2回 4月・9月	全員 消防署員等
虐待防止研修	虐待防止法について理解を深めます。	年1回以上 6月頃	有識者 全職員
感染症対策研修	食中毒やウイルス感染等について学びます。	年1回以上 12月頃	有識者 全職員
外部施設研修	外部施設の視察や研修に参加します。	年2回以上	全職員
ボランティア研修	オルタレゴの理念によるボランティア向けのワークショップを行います。	年2回以上	希望者 全職員